# Ⅳ－238　高齢社会における水辺空間の施設整備に関する考察

秋田大学　学生員　○　藤田　　勝
秋田大学　正会員　　清水浩志郎
秋田大学　正会員　　木村　一裕

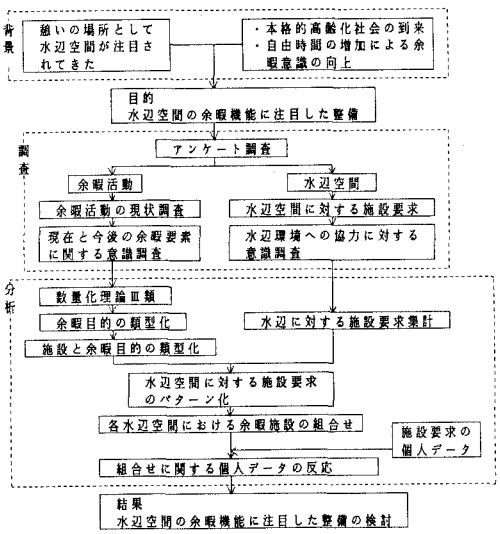
## １．はじめに

日常生活における余暇活動は高齢者にとって生きがいをつくり出す重要な活動であり、高齢社会においては充分な余暇活動ができるような空間や施設整備が望まれている。また、余暇活動の場として水辺空間は、オープンスペース、水、緑（自然）など多くの要素からなり、生活空間に近い近隣空間も多く、日常生活における余暇空間として魅力を持っている。

本研究では、水辺空間を余暇活動の場としてとらえ、水辺空間の持つ余暇機能を明確化し、これに対応した施設を類型化することにより、水辺空間における魅力ある施設のあり方を考察するものである。

## ２．研究の流れ

本研究のフローチャートを図－１に示している。

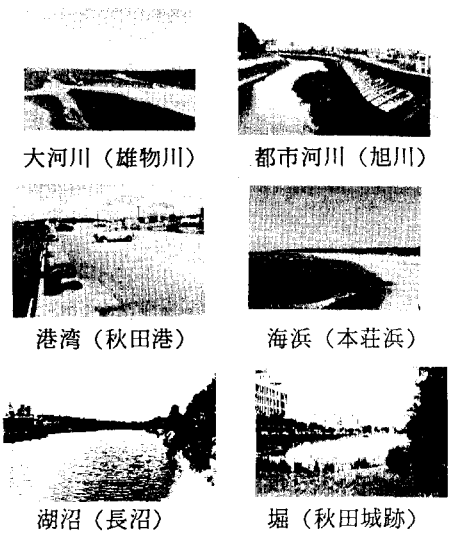



図－１　研究のフローチャート

本研究では初めに、余暇関係施設の持つ様々な余暇要素の明確化を行う。さらに、様々な水辺に希望する施設を挙げてもらうことにより、個々の水辺へのニーズの把握とともに、水辺のもつ余暇機能の明確化を行う。以上の目的のために、アンケート調査を実施した。取り上げた水辺は、その取りまく環境や形態の違いにより「大河川」、「都市河川」、「港湾」、「海浜」、「湖沼」、「堀」の６つに分類し、具体的な水辺の写真を見ながら施設を選んでもらった（写真－１）。また、本研究では都市河川は生活空間内を流れる中小河川、堀は都市内にあり買物、仕事の空間内にある水辺と認識した。尚、調査票の配布数、回収数及び年齢、性別構成は表－１に示す。

表－１　年齢及び性別構成

| | | 有効票数 | 構成比 | | | 有効票数 | 構成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年齢層 | 青年層（20～39歳） | 100 票 | 31.9 % | 性別 | 男性 | 177 名 | 56.5% |
| | 中年層（40～59歳） | 43 票 | 13.8 % | | 女性 | 132 名 | 42.2% |
| | 高年層（60歳以上） | 170 票 | 54.3 % | | 無回答 | 4 名 | 1.3% |
| | 合　計　（配布500票） | 313票　（回収率　63%） | | | | | |




写真－１

## ３．施設の類型化による分析結果

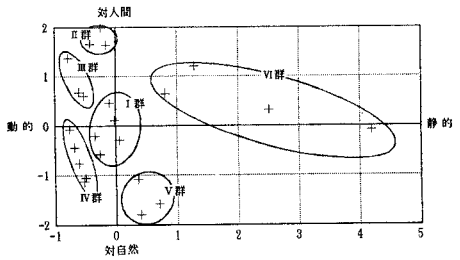
### （１）　施設の類型化

高齢者から見た余暇関連施設の持つ余暇要素を類型化するために、水辺空間への設置を想定した余暇関連施設に対して高齢者の認識する余暇機能を表－２に示す９つの余暇要素により表現してもらい、これを数量化理論Ⅲ類により類型化した。その結果、固有値0.300と0.265に対応する２軸が得られ、カテゴリープロットによりそれぞれⅠ軸を「静的－動的」、Ⅱ軸「対人間－対自然」と解釈した。また、施設のサンプルプロットは、図－３に示すような空間に

布置され、６つのグループに分かれそれぞれ表－３に示すように施設の分類ができた。

表－２　余暇要素

| | | |
|---|---|---|
| 1，健康や体力の向上をめざす | 4，自然に触れることができる | 7，ゲームなどで競う |
| 2，人との交流ををはかる | 5，創造力や芸術的関心を満たす | 8，社会や人のためになること |
| 3，日常の生活を離れる解放感 | 6，日常生活や仕事に役立つ | 9，賭けや偶然を楽しむこと |




図－２　余暇施設の類型

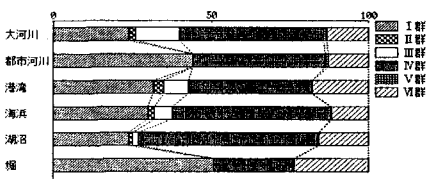
表－３　グループによる施設分類

| 群　名 | 施　設　名 |
|---|---|
| Ⅰ群<br>憩いグループ | コテージ、水上レストラン、ホテル、庭園、ベンチ・テーブル、あずま屋、動物園・水族館、カラオケ施設 |
| Ⅱ群<br>勝負事グループ | 競艇場、カーレース場、将棋・囲碁場 |
| Ⅲ群<br>スポーツグループ | トレーニング施設、体育館、野球場、球技場、グランド壁うち、テニスコート |
| Ⅳ群<br>アウトドアグループ | 自転車道、ジョギングコース、プール・水泳場、スカイプレイ、ヨットハーバー、釣り場、キャンプ場、遊歩道、遊園地、桟橋 |
| Ⅴ群<br>自然作業グループ | 田畑 |
| Ⅵ群<br>文化活動グループ | 動物園・水族館、オートシアター、移動図書館、屋外ギャラリー、野外音楽ホール、水辺の博物館、野外ステージ、工房、パフォーマンス広場、野外ステージ、イベント広場 |

（２）　各水辺のグループ構成

各水辺に対して要求された施設を、グループ別に示したのが図－４である。いずれの水辺もⅣ群の「アウトドアグループ」とⅠ群の「憩いグループ」、そしてⅥ群の「文化活動グループ」の構成割合が高くなっている。また、大河川ではⅢ群の「スポーツグループ」。港湾と堀では、Ⅵ群「文化活動グループ」の構成割合が他の水辺より高くなっているのが特徴的である。

また、施設グループの組合せでも、ほとんどの水辺でⅠ・Ⅳ群あるいはⅠ・Ⅳ・Ⅵ群の組合せが多くみられる。ただし、堀に関してはⅠ・Ⅵ群の組合せが他の水辺に比べて高いことが特徴的である。




図－３　各水辺の余暇施設グループ比

（３）　水辺に求められる余暇施設

水辺に求められる余暇施設を施設グループで集計した結果、水辺及び年齢層ごとの変化は見られなかったが、施設グループに属する個々の施設ではいくつかの違いが見られる。そのうち特徴的なものを表－４に示した。Ⅲ群の大河川では「球技場」や「グランド」への希望が高く、年齢層別では高年において「トレーニング施設」、中年で「野球場」、青年で「壁内テニスコート」への希望が多くみられる。また、Ⅵ群の「文化活動グループ」では、水辺および年齢層ともに相違が顕著であり、大河川において「イベント広場」や「野外ステージ」は若い層で、「水辺の博物館」は高年層で求める傾向があり、都市河川、港湾、湖沼でも同じ傾向がみられる。また、大河川、海浜では、青年の「オートシアター」への要求の高さが特徴的である。

表－４　群ごとの特徴的な施設

| 群　名 | 水　辺　名 | | 特徴的な施設 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | 全　水　辺 | | ベンチ・テーブル、あずま屋、庭園 |
| | 港　湾 | | 水上レストラン |
| Ⅲ | 全　水　辺 | | 球技場 |
| | 大　河　川 | 高年 | トレーニング施設 |
| | | 中年 | 野球場 |
| | | 青年 | 壁うちテニスコート |
| Ⅳ | 港　湾 | 全層 | 釣り場 |
| | | 高年 | 自転車道 |
| | | 青年 | ヨットハーバー |
| Ⅵ | 大　河　川 | 高年 | 水辺の博物館 |
| | | 青年 | イベント広場、野外ステージ |
| | 都市河川 | 中年 | 野外ギャラリー、野外音楽ホール |
| | 港　湾 | 高年 | 水辺の博物館 |
| | | 青年 | オートシアター |
| | 海　浜 | 高年 | 水辺の博物館 |
| | | 中年 | パフォーマンス広場 |
| | | 青年 | オートシアター |

## ４．まとめ

本研究では余暇要素により余暇施設の類型化を行った。その結果、施設の類型化により、施設を６つのグループに分類することができた。そして、各水辺に対し施設グループによる分析では、年齢の違いによっては求める施設の意識は共通しており、「憩い」や「自然にふれる」ことに集中することがわかった。また、年齢層の違いによる意識の変化は施設グループに属する個々の施設を集計することにより見られた。スポーツグループの大河川では、高年層は健康や体力の向上をめざす施設、中・青年層では競技の場が求められており、文化活動グループではほとんどの水辺に対し、高年層は学習の場、中・青年層はイベントや芸術鑑賞の施設、が求められてことが分かった。